

第6 平和記念施設保存・整備方針の策定に係る検討の経過

1 検討の経過

事 項	年月日	内 容
市民意見募集	平成 15 年(2003 年) 9 月	「市民と市政」、ホームページ等において意見募集 ・ 原爆ドーム〔保存の意義、保存の方法〕 ・ 平和記念公園とその周辺空間〔その役割、整備・活用策〕 ・ 平和記念資料館〔今後の取組み、展示〕
有識者アンケート	平成 15 年(2003 年) 10 月	国内外の有識者等約 160 名に対し郵送 ・ ヒロシマの果たすべき使命 ・ 原爆ドーム保存の意義、保存の方法 ・ 平和記念公園及びその周辺の役割、整備・活用策 ・ 平和記念資料館の今後の取組み
第 1 回平和記念施設あり方懇談会	平成 16 年(2004 年) 7 月	広島会議 27 日、東京会議 29 日 ・ 平和記念施設保存・整備方針の策定に係る論点 ・ 原爆ドーム保存に係る意見交換資料 など
第 2 回平和記念施設あり方懇談会	平成 16 年(2004 年) 10 月	東京会議 18 日、広島会議 28 日 ・ 平和記念公園とその周辺のあり方
第 3 回平和記念施設あり方懇談会	平成 17 年(2005 年) 1 月	東京会議 27 日、広島会議 31 日 ・ これまでの議論のまとめ
第 4 回平和記念施設あり方懇談会	平成 17 年(2005 年) 5 月、6 月	広島会議 5 月 30 日、東京会議 6 月 10 日 ・ これまでの議論の要約
市民意見募集	平成 17 年(2005 年) 11 月	「市民と市政」、ホームページ等において意見募集 ・ 保存・整備方針「中間とりまとめ」について
第 5 回平和記念施設あり方懇談会	平成 18 年(2006 年) 1 月	合同会議 26 日(東京で開催) ・ 平和記念施設保存・整備方針(案)について
策 定	平成 18 年(2006 年) 3 月 31 日	

2 平和記念施設あり方懇談会委員名簿

平成16年(2004年)7月16日設置

(敬称略、役職は就任時のもの)

〔広島委員〕

浅井基文 広島平和研究所所長(平成17年(2005年)5月から委員)
地井昭夫 広島国際大学教授
坪井直 広島県原爆被害者団体協議会理事長
福井治弘 広島平和研究所所長(平成17年(2005年)4月まで座長・委員)
舟橋喜恵 広島大学名誉教授(平成17年(2005年)5月から座長)
森瀧春子 核兵器廃絶をめざすヒロシマの会共同代表
山根進 NPO法人公共空間活用推進プロジェクト理事長

〔広島以外委員〕

飯田喜四郎 博物館明治村館長、名古屋大学名誉教授
猪口邦子 上智大学教授(平成17年(2005年)10月まで委員)
岩垂弘 平和・協同ジャーナリスト基金代表運営委員
大石芳野 フォト・ジャーナリスト
加藤尚武 鳥取環境大学学長
平山郁夫 東京芸術大学学長
山折哲雄 国際日本文化研究センター所長
山崎朋子 ノンフィクション作家
横山禎徳 一橋大学大学院客員教授

は座長を示す。